

平成30年度全国学力・学習状況調査について

今度の全国学力学習状況調査の結果と、2学期以降の取組について報告します。それぞれの教科の通過率は下記のようになりました。尚、今年度は、「基礎・基本」定着状況調査はありませんでした。

全国学力学習状況調査（6年生対象）

※網掛けは、県及び市平均を上回る数値

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
旭小	82.0	66.0	72.0	55.0	66.0
広島県	73.0	59.0	66.0	54.0	63.0
福山市	74.0	58.0	66.0	53.0	63.0

この結果から本校は、全ての分野で広島県及び福山市平均を上回り、少しずつですが学力を付けていると考えます。特に、国語に関しては、大幅に上回る結果となりました。しかし、算数に関してはB分野（活用力）については課題があり、今度とも継続して取組を進めてまいります。課題となる問題について、「なぜ間違えたのか」「どんな力を付ければいいのか」等を分析し、今後取り組むべき方向性を考えました。

旭小学校6年生は、2学期以降、次のことに取り組めます。

	課 題	取 組
算 数	算数の課題は、次の3点 ①180度以上の角度の測り方 ②2つの条件を2数直線で整理する力 ③長い問題文を読んで何を求めるのか理解する力	取組は、次の通り ①拡大・縮小の単元で分度器を用いて作図させる。特に、180度より大きい角度の作図、測り方を復習しておく。 ②2数直線図をどんな場面でどのように書くか教え、使いこなせるようにする(困ったときに使えるように)。 ③長い文章を繰り返し練習させるとともに、式を書く前に図を書かせる。
理 科	理科の課題は、次の2点 ①実験結果から考察する力 ②2つ以上の資料を関連づけて考察する力	取組は、次の通り ①実験結果をもとに、なぜそうなったかを予想と結果を比較して、自分の言葉で考察させる。 ②2つ以上の資料(グラフ等)を関連づけて考えられる発問や授業展開を仕組む。
生 活	生活アンケートでの課題は、次の1点 ・自己肯定感が広島県平均、全国平均と比べて低い。 ①「自分にはよいところがあると思う」の質問に「当てはまる」の回答…38.1% ②先生がよいところを認めてくれていないと感じる児童…9.5%	取組は、次の3点 ・児童に役割を与え、評価によって達成感を持たせる。 ・全教職員で児童と関わりをもち、児童の頑張りを認め、共有する。 ・きらきらみつけの取組を継続する。 →自分自身では気づかなかったよいところを気づかせ、自己肯定感を高める。

今年度の全国学力・学習状況調査個人表をお配りします。本校におきましては、上記の通り、おおむね学力が定着しておりますが、個別に指導しなければならない場合もあります。中学校に向け、今、つけておかなければならない学力を結果から見えてきた課題を中心に指導を継続します。よろしくお願いいたします。